

A4サイズ  
フルカラー 256頁  
定価 1500円 (税込)

風水害情報の読み方と用語を詳しく解説

# 風水害情報ガイドブック

2018年版 刊行

自治体・企業の  
防災担当者、  
メディア必携!!

## 新しい防災情報や用語をいかに読み解けばよいのか

本ガイドブックは2004年に発行以来、改訂を重ねてきました。  
2017年に基準や発表の方法が刷新された情報に対応し、わかりやすく丁寧に解説しています。

## 最新の風水害用語を網羅!

- 防災気象情報や指定河川洪水予報等の発表文の読み解き方を発表例で解説
- 新たな防災気象情報（特別警報、危険度分布など）、避難勧告等のガイドラインも解説
- 九州北部豪雨等、2017年までの主な災害記録を掲載



**台風情報 府県情報**

平成21年 台風第18号に関する気象庁発表文 第4号  
平成21年10月7日17時18分 名古屋地方気象台発表

**【見出し】**  
非常に強い台風第18号は強い勢力を保ったまま、8日明け方から朝には愛知県にも接近するため、大荒れの天気となるおそれがあります。暴風、豪波、土砂災害、冠水の浸水、河川の増水やはん濇、高潮に厳重に警戒して下さい。

**【本文】**  
非常に強い台風第18号は、7日15時には種子島の東南東の海上において、1時間におよそ35キロの速さで北北東に進んでいます。今後、速度を速めながら北東に進み、8日未明から朝に、強い勢力を保ったまま、四国から東海地方にかけて接近し、上陸するおそれがあります。

**【雨の予想】**  
台風の北上・接近とともに、次第に雨が強まり、8日には、午前中を中心に、雲を伴って1時間160ミリの速さで北北東に進んでいます。今後、速度を速めながら北東に進み、7日18時から8日18時までに予想される雨量は、多い所で、西部、東部共に、160ミリ

**【風の予想】**  
海上では東または南東の風が強まり、台風が愛知県に接近する8日は、海上を中心に南東の猛烈な風が吹くとして、

**【最大風速は、】**  
海上で 30メートル、陸上 25メートル  
最大瞬間風速は、8日には、海上で40メートル、陸上で35メートルに達するでしょう。なお、風速はここ10年で最大となる見込みです。

**【最大風速】は10分間平均風速です。『最大瞬間風速』の予想値は、風水害用語55などを参照してください。**

**【府県気象情報は、気象庁の発表するものを基にしています。発表発表後の変更に雨量や最大風速等の値が変わるに気象要素の予想値に目を過す必要があります。』**

気象庁HPで表示される「洪水警報の危険度分布」の例を下図に示す。

2017年07月05日18時10分

高山川、沼津川は洪水警報発中を示す

極めて危険な領域が広がっている。

約18分間に更新される。危険度の高い流域の時間経過をみることも必要。

上流部の危険度低下・軽減、下流へ移動、移動の停止、上流部の危険度確認すること

指定河川洪水予報の別河川は、一般の洪水警報とは発表形態が異なるため、表示は表示されていない。これを判別したい場合は、右の指定河川洪水予報のマークを用いて判別して下さい。大雨発生時とその河川における洪水警報内上流部の危険度が確認できる。

**63. 平成29(2017)年 平成29年7月九州北部豪雨**

日本を通過した台風3号の影響が続く中、梅雨前線が西日本付近に南下し、5日未明から朝にかけて島根県西部で記録的な大雨となり、気象庁は島根県に大雨特別警報を発表したが、昼前には解除した。その後、5日午後からは、福岡県北部で次々と積乱雲が発生し、発達しながら東へと移動して線状降水帯が形成された。同じ場所で長時間猛烈な雨が降り続き、九州北部地方では観測史上最大規模の記録的な大雨となった。6月30日から7月10日までに観測された総降水量は、福岡県朝倉市朝倉で660.0mm、長崎県壱岐市芦辺で567.5mm、大分県日田市日田で500.0mmなど、7月の月降水量の年々を上回る大雨となった所があった。特に、7月5日から6日にかけて、島根県浜田市波佐、福岡県朝倉市朝倉、大分県日田市日田などで、最大24時間降水量が統計開始以来の1位の値を更新する記録的な大雨となった。気象庁は、5日17時51分には福岡県の筑後地方・筑豊地方を中心とする地域に大雨特別警報を発表。さらに19時55分には、大分県のほほ全県にも大雨特別警報を発表した。この豪雨により、各地で川の氾濫や土砂災害が発生し、死者・行方不明者は福岡県内で38人、大分県内で3人にとどまった。特に福岡県朝倉市での被害が甚大で、筑後川に流入する福岡県朝倉市赤谷川等の山河川で洪水害が発生し、土石流が発生して民家を直撃、さらになぎ倒された木が大量に流れ出て、被害を拡大させた。この大雨について気象庁は「平成29年7月九州北部豪雨」と命名した。

項目	被害状況(内閣府防災HPより)
災害日	平成29年6月30日～7月10日
被害の大きかった地域	福岡県、大分県
死者・行方不明者	43人
全半壊・一部破損	1,522棟
床下・床上浸水	2,231棟

注文冊数  冊	氏名 (所属)		
	送付先住所	〒	
※送料は、2冊まで430円。 3冊以上は別途お知らせします。 ※50冊以上お買い上げの場合、 送料無料で+1割引となります。	連絡先	TEL	FAX
		E-mail	

注文・問い合わせ / 発行

NPO法人 環境防災総合政策研究機構

FAX

03-3359-7987

〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22ローヤル若葉105号 TEL 03-3359-7971(平日10時～18時) E-mail infocemi@npo-cemi.com